

< 総括判断 >

景気は、家計部門の改善が遅れるなど、
厳しい状況をなお脱していないが、企業
部門を中心に自律的回復に向けた動きが
継続し、全体としては、緩やかな改善が
続いている。

景気は、家計部門の改善が遅れる
など、厳しい状況をなお脱してい
ない

雇用情勢
(p14)

個人消費
(p5)

企業倒産
(p15)

家計部門

企業部門を中心に自律的回復に向けた
動きが継続し、全体としては、緩やかな
改善が続いている。

生産 (p13)
設備投資 (p8)
企業収益 (p15)
等

< 政策態度 >

政府は、経済を自律的な回復軌道に乗せるため引き続き景気回復に軸足を置きつつ、我が国経済を21世紀にふさわしい構造に改革する。このため、先般決定した「日本新生のための新発展政策」を強力に推進する。

「日本新生のための新発展政策」を推進

```
graph TD; A[「日本新生のための新発展政策」を推進] --> B[我が国経済を自律的な回復軌道にのせていく]; A --> C[日本経済の新生];
```

我が国経済を自律的な
回復軌道にのせていく

日本経済の新生